



新型スイフトスポーツ モンスタースポーツ・コンプリートカー 受注開始

株式会社タジマモーターコーポレーション（代表：田嶋 伸博、本社：東京）のモータースポーツ部門、モンスタースポーツ(MONSTER SPORT)では、新型スイフトスポーツ(ZC33S)をベースとしたコンプリートカーを設定し、10月1日より受注を開始しました。

スズキ車と共にモータースポーツの道を歩んできたモンスタースポーツでは、世界ラリー選手権等様々なモータースポーツシーンで培ってきたノウハウを活かし、新型スイフトスポーツをより一層パフォーマンスアップするための開発をスタートしています。

プロジェクトの指揮を執るのは、あの「モンスター田嶋」こと田嶋 伸博。パイクスピーク国際ヒルクライム優勝 10 回を果たし殿堂入り、アジアパシフィックラリー選手権をカルタスやイグニスで席巻、全日本ダートトライアルチャンピオン 9 回、世界ラリー選手権/ジュニア世界ラリー選手権スズキチーム総監督と、圧倒的な偉業を誇るレジェンドが新型スイフトスポーツに取り組みます。

そして開発現場には、アルトワークスやカルタスを駆り全日本ラリー選手権チャンピオン 9 回/全日本ダートトライアル選手権チャンピオン 12 回を成し遂げ「天才」と称された粟津原 豊を中心に、かつてジュニア世界ラリー選手権(JWRC)で最強の名を欲しいままにした「スイフト・スーパー1600」を造り上げた開発陣が周りを固め、盤石の開発体制を敷いています。

新型スイフトスポーツ(ZC33S)は、優れたシャシー性能や高出力ターボエンジン、6速トランスミッション等の装備によりポテンシャルが高く、様々なフィールドでの活躍が期待されています。モンスタースポーツでは、ストリート～ショートサーキット走行向けで3ステップのコンプリートカーを設定。また、モータースポーツ競技向けに、ジムカーナ(PN3)、ダートラ(PN2)、ラリー(JN4)レギュレーションに合致したコンプリートカーを設定しました。いずれも、納車されたその日からハイパフォーマンスを発揮します。

モンスタースポーツ・コンプリートカーは、北海道から九州まで全国7店舗（オープン予定含む）のモンスター モータースポーツプロショップから販売いたします。